



「形」を重んじる

校長 大橋 一樹

朝、子供たちの登校を外に出て挨拶をしながら迎えています。ほとんどの子が寒中、気持ちよく挨拶を返してくれるのですが、中にはわざわざ立ち止まって一礼してくれる子がいます。聞けば、習っている武道において、そう教えられているからだと言います。

立ち止まって一礼する。これは挨拶の「形」です。礼に限らず日本人は、箸の持ち方から言葉遣いまで生活の様々なところに「形」を重んじてきた民族です。形に対して「形式的なもの」

「堅苦しい」と、批判があるのも存じていますが、それほど単純なものではありません。形式や順序などを整えることで、間違えなくその場の秩序が保たれているのです。4月から挨拶、掃除（黙働）、廊下歩行、言葉遣いなど繰り返し指導してきました。また、職員においても自ら実践を心がけるよう、自分から挨拶など率先し、模範を示すことが大切だと話しています。

学校生活を楽しみながらも、一人一人が節度をもって生活していけるよう、これからも日々取り組んでいきたいと思えます。

さて、学校では先日、児童会役員の引き継ぎ式がありました。一年間の活動への労をねぎらい感謝するとともに、全校児童がこれから学校の一員としての自覚をもって活動への意欲を高めることがねらいです。今年は委員会活動中心の5・6年生を体育館に集め、この引継ぎ式を行ったことで、ビデオカメラの前でのやりとりではない緊張感のあるものとなりました。これまで、行事の運営や委員会活動をリードしてきた子供たち。一年間ありがとうございました。

学校の生活は、けっして楽しいことや自分の思うようになることばかりではありませんが、さまざまな人と直接関わり合いをもち、誰かの役に立っているという感情が育つことで、社会の一員としての自覚が芽生えていくものだと思います。係活動、給食当番、日直、行事の実行委員、部活動などでの人との関わりを大切にしよう今後も声掛けをしていきたいと思えます。



校内席書会

学校代表児童の作品

書写練習は、昨年の12月から取り組み、一文字一文字心を込めて練習していました。冬休みの間も書き初めは宿題となり、新年を迎え1月に3年から6年までは体育館で席書大会を行いました。書き初めは、元々宮中で行われていた儀式ですが、江戸時代になって寺子屋の普及で庶民にも広がり、明治以降の学校教育で習字が必修とされてから、盛んになったと言われています。正月2日を一年の事始めとし、その年の心構えや抱負などを書き記し、精進すると成就するとのこと。

1、2年生の硬筆、3～6年生の毛筆の中から、学年の代表が選ばれ、船橋市の市民ギャラリーに展示されました。



赤い羽根共同募金
ご協力ありがとうございました
薬円台小 募金総額
3,740円

★本校ホームページをご覧ください。
最新情報や日々の教育活動・児童の様子を中心に
「今日の薬円台小 NO.2」に掲載しています。
リニューアルしました。

<https://www.city.funabashi.lg.jp/gakkou/0001/yakuendai-e/index.html>

薬円台小

